

- THE POWER OF CLEANING -

人を育て組織を強くする

# 整理・整頓のコツ

株式会社そうじの力 代表取締役 小早 祥一郎

- その1 なぜ整理・整頓は人を育て組織を強くするのか
- その2 整理・整頓で定着率が上がる
- その3 整理・整頓で普通の社員が「戦力」に育つ
- その4 整理・整頓でリーダーや幹部が育つ
- その5 整理・整頓で問題児が優等生に変わる
- その6 整理・整頓で同じ価値観の集団になる

## その3 整理・整頓で普通の社員が「戦力」に育つ

### 〈1〉実務能力にかかわらず そうじはできる

整理・整頓・清掃の活動の面白いところは、誰にでもできる、ということです。

会社内には、実務に長けた人と、そうでない人がいます。全員が実務に長けているのが理想ですが、現実には、なかなかそうはなりません。

また、野球チームにおいて、全員がホームランバッターであればいいかという、そうでもなくて、それぞれに特徴を持った選手がいてこそ、チームが強くなるのです。

会社においても、実務上はさほど優秀でない人が、整理・整頓・清掃をやらせると、意外にも力を発揮する、ということがあります。

ある会社では、1人の営業マンが、誰に言われたわけでもないのに、毎朝1人でトイレそうじをしていました。当初そのトイレの便器には、尿石がびっしりこびりついていて、多くの人はそうじをするのを忌避していたのですが、彼のおかげで尿石がきれいに除去されました。彼のその姿勢は、同僚から歓迎され、現在は係長になって活躍しています。

また別の会社では、ある女性社員が、事務仕事は苦手なのですが、庭仕事が得意でした。夏場の猛暑



【ボツ案】 ケーブルをジップロックに入れた



【完成形】 ケーブルを透明ファイルボックスに入れた

のなかでも、嫌がらずに敷地内の雑草の処理や、壊れたコンクリ擁壁の補修などを、喜んで引き受けてくれていました。同僚にしてみれば、「助かる」という気持ちで、彼女はその会社ではなくてはならない存在になっています。

### 〈2〉失敗しても実害がない

整理・整頓・清掃の活動のもう一つ良いところは、失敗しても実害がない、ということです。

実務の上では、失敗すれば、お客様にご迷惑をおかけしたり、資金を流出させたりといった、損害が発生します。

ところが、例えば、床面の清掃方法が悪くて、かえって汚れが広がってしまったからといって、特段に害はありません。あるいは、道具置場のレイアウトを変えてはみたものの、かえって分かりにく

くなってしまったからといって、それほど大事にはなりません。

あるIT機器を扱う会社では、電源ケーブルやLANケーブルなどのケーブル類が大量にあふれかえっていて、その収納方法に頭を悩ましていました。

ある社員が手を挙げて、ケーブル類の収納に取り組んでくれたのですが、悪戦苦闘の連続でした。当初は段ボール製の収納箱に入れていたのですが、今一つスッキリしません。次に、ケーブル類をジップロックに入れて、それを有孔ボードに付けたフックに吊り下げ、さらにその有孔ボードをスライド式にして、前後に動かせるようにしました。これはとても良いアイデアだと思えたのですが、実際にやってみると、意外に使い勝手が良くないことが分かりました。最終的には、100円均一ショ



小早 祥一郎 (SHOICHIRO KOHAYA)

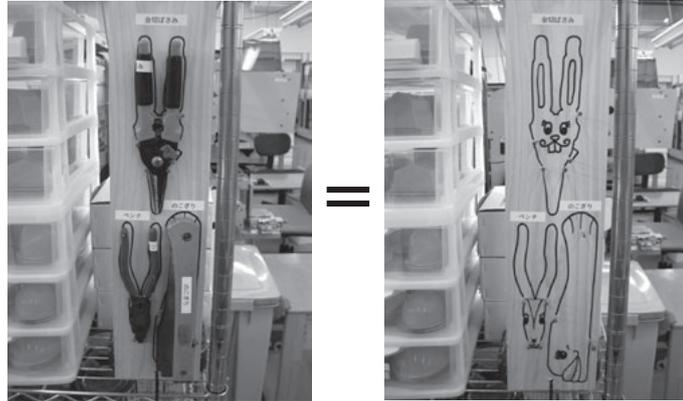
株式会社そうじの力 代表取締役 環境整備コンサルタント <https://soujinochikara.com>

昭和43年生まれ。早稲田大学卒業後、日産自動車株式会社に入社。人事、営業、環境部門において、制度改革のプロジェクトリーダーなどを歴任し、退職。2009年に、環境整備(整理・整頓・清掃)を通じて組織活性化を支援するコンサルティング会社、(株)そうじの力を設立。15年間で500社以上を支援し、支援先からは製品不良率30%低減や、利益倍増、不良在庫ゼロ、新卒退職者5年間ゼロ、若手から幹部が育っている、などの成果報告が相次いでいる。

▶座右の銘「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る」(井上靖)

ップで売っている書類用の透明ファイルボックスにケーブル類を収納することで、見た目もスッキリし、使い勝手も抜群に良くなりました。

こうしたトライ&エラーは、整理・整頓・清掃においてはむしろ歓迎されていて、その過程で培った問題解決力が、実務に生かされるのです。



絵合わせで壁掛け式にした工具置場。それぞれ動物の絵が描いてある

### 〈3〉個性とアイデアが発揮できる

実務においては、なかなか個性を発揮できる場は多くありません。むしろ、下手に個性を発揮すると、業務に支障が出て、上司から叱られたりします。

しかし、整理・整頓・清掃においては、大いに個性を発揮できます。

製造業の小さな会社で、道具の整理・整頓をしている際に、ある女性社員が、「せっかくやるなら、楽しくやろうよ!」と言って、いろいろユニークな工夫を始めました。

ペンチやノコギリなどの工具を絵合わせで壁掛け式にしたのですが、その際、単に道具の輪郭を描くのではなく、金切りばさみはウサギ、ペンチは鹿、ノコギリはクジラというふうに、それぞれ動物の絵を描いて、そこに掛ける形にしたのです。とても可愛くて、見

るたびにクスッと笑ってしまいます。

こうした「遊び心」は、彼女が持つ素晴らしい個性であり、職場の雰囲気をも明るく楽しいものにしてくれます。

整理・整頓・清掃の活動によって、より彼女の個性が生かされる場ができて、それが彼女のやりがいや会社に対するロイヤリティにもつながっているのです。

### 〈4〉自信のない社員が皆を引っ張るリーダーに育った事例

印刷会社F社では、ある時期から全社を挙げて整理・整頓・清掃に取り組むようになります。

このときに、全社を統括するリーダーに抜擢されたのが、Kさんでした。Kさんは、将来有望な若手として期待されていたのですが、今一つ自信がなく、伸び悩んでいて、社長としても歯がゆい思いをしていました。

そんなKさんですが、リーダーに抜擢されたことを意気に感じたのか、積極的に整理・整頓・清掃に取り組みます。

最初に、会社周辺のゴミ拾いをしようと言いつ出したのはKさんでした。また、橋の橋脚などに書かれた落書き消しを提案したのもKさんでした。

そうしたKさんに引っ張られる形で、他の社員たちも、どんどん積極的になっていきました。

その積極性が、業務においても発揮されるようになり、徐々に皆のまとめ役的な存在になっていきました。

現在Kさんは、営業部長になって、皆を引っ張っていってくれています。

この会社の実際の動画をYouTubeにアップしていますので、<https://x.gd/INfNR>からご覧ください。